

運行安全管理システム

各種衝突警報情報により ドライバー別に危険が生じやすい状況を踏まえた運行安全管理へ

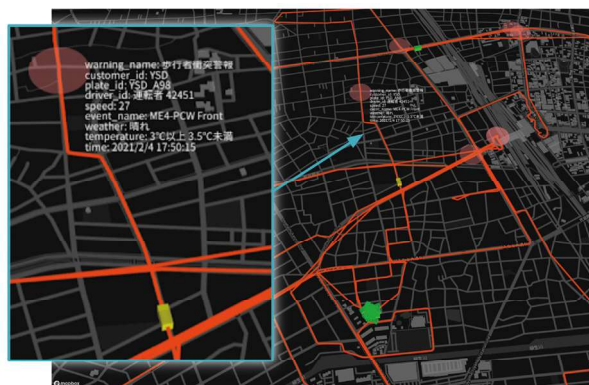
- 豊橋技術科学大学 准教授 松尾幸二郎 准教授 大村廉 研究員 モアザム・イルシャド
- ジャパン・トゥエンティワン(株) 違真樹 ● (株)ウェブインパクト 木村博司

概要

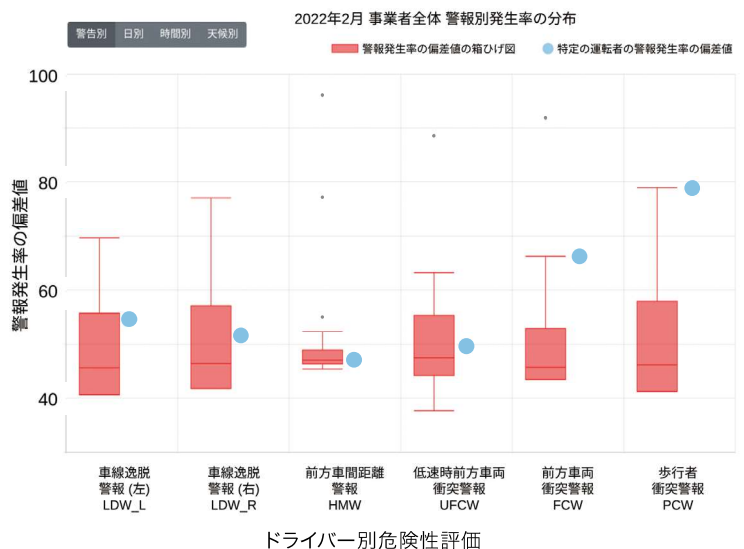
ドライブレコーダを用いた従来の運行安全管理システムでは、歩行者・自転車との出合頭や前方車両との追突など危険発生状況を分類するにはあらためて画像解析が必要となるなど、広範囲で大量のデータの収集や迅速な活用へのハードルが高いことが課題であった。本プロジェクトでは、後付け型の衝突防止警報補助装置のリアルタイム画像解析により得られる各種衝突警報情報を用いることで、大量のデータの効率的な収集・管理・分析を可能とした。それにより各ドライバーがどのような条件(天候、時間帯など)のときに危険が生じやすいかを的確に要約でき、運行安全管理への効果的かつ効率的な活用が可能となった。

特長

- 個別の車両の位置をリアルタイムに地図上に可視化(ビークルロケーション機能)
- 個別車両の走行経路に沿って警報発生情報(発生位置・時間・速度)などを可視化
- 月別にドライバー別に天候、時間帯などにおける各種衝突警報発生傾向を要約し、ドライバーへの交通安全指導に活用



ビークルロケーションシステムと警報発生状況



■ お問い合わせ先 豊橋技術科学大学建築・都市システム学系 松尾幸二郎
e-mail:k-matsuo@ace.tut.ac.jp 電話番号:0532-44-6864 FAX:0532-44-6833